

平成25年度社会福祉法人しあわせあつくん
法人事業報告

平成26年5月20日

平成25年度理事会・評議員会 開催状況

在籍者数

日時	議題	7 理事会	8 評議員会	15 成立
平成25年5月24日	1 事業報告	7	14	○
	2 決算			
	3 GH不動産取得融資つなぎ融資			
平成25年8月29日	1 取得予定物件の用途変更について	6	13	○
	2 定款変更について			
	3 グループホーム大喜の指定変更について			
	4 ヘルパーステーション大喜の目的追加について			
	5 銀行借入れ時、抵当権設定について			
	6 銀行つなぎ融資、アトリウムとの売買契約について			
平成26年2月19日	1 評議員の紹介及び承認について	7	13	○
	2 現評議員の再任承認について			
	3 委嘱状交付			
平成26年3月28日	1 平成25年度補正予算	6	12	○
	2 平成26年度事業計画			
	3 平成26年度予算			

平成25年度法人研修状況

平成25年4月	15日 高間先生文章教室
5月	15日 高間先生文章教室 21日 苦情対応・接遇研修
6月	14日 高間先生文章教室 19日 褥瘡研修
7月	16日 高間先生文章教室 14日 AED研修
8月	5日 法人アンケートを配布(別紙1参照) 20日 腰痛予防研修
9月	13日 高間先生文章教室 24日 貯蓄研修
10月	11日 高間先生文章教室
11月	6日 高間先生文章教室 20日 エンシユアリティ研修
12月	9日 高間先生文章教室
1月	16日 高間先生文章教室 22日 感染症予防研修
2月	12日 大喜家 スタッフ向け終末期を支えてアンケート回収(別紙2参照)
3月	14日 高間先生文章教室

平成25年度管理者ミーティング内容

平成25年4月	15日20:00～ 参加者:鰐部 寺西 西川 山田 長谷川 中村 福田	○平成24年度事業報告・決算 ○法人研修 ○大喜家一周年記念行事 ○手当 ○法人諸費用
5月	15日20:00～ 参加者:鰐部 寺西 谷風 西川 山田 長谷川 中村 福田	○5月法人研修 ○ケアプラン大喜の諸問題 ○新規職員検討会
6月	14日20:00～ 参加者:鰐部 寺西 谷風 西川 山田 長谷川 中村 福田	○6月研修 ○腰痛予防研修 ○足のセミナー ○GH大喜不動産取得 ○ヘルパーステーション開所
7月	16日20:00～ 参加者:鰐部 寺西 谷風 西川 山田 長谷川 中村 福田 平岡	○各部署人事 ○GH大喜取得後の一階部分の利用 ○大喜デイの厨房工事 ○健康診断 ○管理者リスマネに学ぶ
8月	16日20:00～ 参加者:鰐部 寺西 谷風 西川 山田 長谷川 中村 福田 平岡 奥	○各種研修 ○各部署報告 ○大喜家スタッフに昼食
9月	13日20:00～ 参加者:鰐部 寺西 谷風 西川 山田 長谷川 中村 平岡 奥村	○法人研修 ○敬老の日 ○各部署報告 ○他部署相互評価 ○大喜祭 ○人件費率 ○法人アンケート
10月	11日20:00～ 参加者:鰐部 寺西 谷風 西川 山田 長谷川 奥村	○各部署報告 ○来月の研修 ○職員の配置替え
11月	6日20:00～ 参加者:鰐部 寺西 谷風 西川 山田 長谷川 中村 福田 平岡 奥	○冬の賞与 ○各部署報告 ○年末年始 ○給与計算の協力要請
12月	9日20:00～ 参加者:鰐部 寺西 谷風 山田 長谷川 平岡 奥村	○各部署からの報告 ○忘年会 ○クリスマスプレゼント・年賀状
1月	16日20:00～ 参加者:鰐部 寺西 谷風 西川 山田 長谷川 福田 平岡 奥村	○事業計画・予算の作成依頼 ○法人研修 ○各部署報告 ○大喜家職員退職に伴う応援依頼 ○あーよかた笹部さんタナーミナル
2月	大雪のため中止	
3月	14日20:00～ 参加者:鰐部 寺西 谷風 西川 山田 長谷川 福田 平岡 奥村	○評議員会・理事会参加要請 ○ポータス支払い

職員体制

※所属人数を記載（常勤・非常勤の在籍人数を記載している 常勤換算数ではない）

大喜デイサービスセンター

職種	管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	調理職員	運転手	事務員	合計
人数	1	1	9	3	2 (看護兼務)	4	4	1名	23名 (兼務2名)

グループホーム大喜

職種	管理者	計画作成担当者	介護職員	看護職員	合計
人数	1	1	10	1 (兼務)	13名 (兼務1名)

ケアプラン大喜

職種	管理者	介護支援専門員	合計
人数	1 (介護支援専門員兼務)	2.5	2.5名

あーよかつた

職種	管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	調理職員	運転手	事務員	合計
人数	1	1	9	1	1 (兼務)	3	1	1名 (介護職員兼務)	17 (兼務1名)

あつくん家（看護・調理はあーよかった）兼務

職種	管理者	計画作成担当者	介護職員	看護職員	調理職員	合計
人数	1	1	6	1 (兼務)	3	11名

ヘルパーステーション大喜

職種	管理者	サービス提供責任者	訪問介護職員	合計
人数	1	1	3	5名

よりそいデイサービスセンター

職種	管理者	生活相談員	介護職員	合計
人数	1	1	3	5名

ご利用者様各位

平成 25 年 9 月 5 日
社会福祉法人しあわせあっくん
法人施設長 寺西久子

社会福祉法人しあわせあっくんのアンケート結果

残暑厳しいなか、皆様にはアンケートにご協力いただき、心より感謝申し上げます。
今回のアンケート結果を参考に、各部署より一層のサービス向上に努めてまいりますので、
今後も、ご協力賜りますようお願いいたします。

アンケートの回収率

	発送数	回収数	回収率
1、大喜デイサービスセンター	69	33	47%
2、グループホーム大喜	8	4	50%
3、「あーよかった」	20	11	55%
4、「あっくん家」	9	7	77%
5、わからない			

問 1

このアンケート記入されている方は？

	回答数
1. 利用しているご本人様	12
2. 利用しているご本人の同居家族様	31
3. 利用しているご本人と別で暮らしている家族様	13
4. その他（具体的に教えてください）	

問 2

現在、ご利用のサービスを教えてください。

	回答数	
1、大喜デイサービスセンター	33	47%
2、グループホーム大喜	4	50%
3、「あーよかった」	11	55%
4、「あっくん家」	7	77%
5、わからない	1	

問3

現在、ご利用のサービスは満足されておられますか？

回答数

1、満足	34	} 問4にお答えください
2、まあまあ満足	15	
3、普通	6	
4、少々不満	1	} 問5にお答えください
5、不満	1	
6、わからない	1	

問4

上記の問で、満足、まあまあ満足とお答えくださった方で、満足されている内容を下記の項目からお答えください。複数回答でも可能です。○をつけてください。

集計数は緑色で表示してあります。

- ・ 建物が使いやすい 18
- ・ スタッフの態度が良い 43
- ・ スタッフ同士の連携が良い 21
- ・ スタッフの言葉使いが良い 26
- ・ 管理者の態度が良い 30
- ・ 管理者の言葉使いが良い 22
- ・ 思うようにサービスが使える 14
- ・ 入浴の介助が良い 20
- ・ 定期的な排泄が行われている 16
- ・ 費用が妥当だと思う 21
- ・ 食事がおいしい 25
- ・ 送迎の対応が良い 29
- ・ プライバシーが守られている 8
- ・ その他 ()
 - ・ 利用者の体調に合わせた対応ができています。
 - ・ 本人が満足している
 - ・ 費用が安いと思う
 - ・ 桧の風呂が気持ち良い

問5

上記の問で、少々不満、不満とお答えくださった方で、ご不満な内容を下記の項目からお答えください。複数回答でも可能です。○をつけてください。

- ・建物が使いにくい
- ・スタッフの態度が悪い
- ・スタッフ同士の連携が悪い→1
- ・スタッフの言葉使いが悪い
- ・管理者の態度が悪い
- ・管理者の言葉使いが悪い
- ・思うようにサービスが使えない
- ・入浴の介助が悪い→1
- ひげそり不足、頭の洗い不足
- ・定期的な排泄が行われない→1
- ・費用が高い
- ・食事がまずい
- ・送迎の対応が悪い
- ・プライバシーが守られていない
- ・その他 ()

利用目線の対応をもっと勉強を

全員の方に伺います。

現在、ご利用のサービス以外のことでも構いませんので、困っていること、悩んでいること、要望など何でも結構ですので、ご意見をご記入ください。

ご意見を記入してあります。

- ・スタッフの対応も良く、とてもありがたいです。連携の部分で伝言がいきわたらないと思う事が良くありますので、改善をお願いします。利用人数も多くなり介護職員の方々も大変と思いますがサービスの質が落ちないように、よろしくお願いします。
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。
- ・べつにありません、よろしくおねがいます。
- ・いつもお世話になります。私が悩んでいる事など、スタッフの皆様に色々と相談でき、本当に助かります。これからもよろしくお願いします。
- ・日曜日もデイサービスが受けられると有難いです。(職員の皆様の休みも必要ではありません)

すが)

- ・最初は行くことを拒否していましたが、皆様のご努力によって、最近はお迎えを待つようになり、いそいそと出かけて行きます。そちらでのことは記憶に残っていないようですが、好感は持っているようです。今後もよろしく願いいたします。
- ・大変良くしていただけてます。今後ともよろしく願い致します。
- ・特になし
- ・体の痛いところをかばって体操をしていると、やり方が悪いと指摘される。ラジオ体操のやり方を知らなくて間違えると名指しで指摘さえるのがイヤだ。
- ・認知症の理解が難しく、適切な対応ができない家族がいる事。本人に怒鳴ったりする。
- ・脚腰をきたえる筋トレを含む体操を日常的に行って頂ければありがたく感じます。(以前、通っていたデイサービスでエアロバイクやスクワット等をして、下半身がきたえられ、かなり、しっかりした足どりで歩行できるようになっていたの…)
- ・お迎えの時間、連絡があれば…衣服の着装の補助をもっとしてください。
- ・外出を多くしてほしい。イベントの見直しを行ってほしい(ずっと変化が無い為)
- ・急な事にも心よい対応をして頂いて大変感謝しています。これからも変わらず よろしく願いします。グループホーム「あつくん家」の様な施設を探していますが、なかなか思いう様な所がありません。是非、作ってください。
- ・何も要望や苦情はありません。母は「良いところだ」と大変、気にいっていて、感謝しています。これからも宜しく願い申し上げます。
- ・要望→利用者の体調に合わせて、色々な対応をして下さいますが、例えばスポーツドリンクの費用請求など、利用した場合は請求して下さいと良いと思います。利用者も気兼ねせず、通えます。デイサービスとショートステイ(1~2泊程度)の機能がプラスされたサービスが有ると良い。(現在のデイサービスの機能は必要がある)
- ・毎日、楽しんで出かけますので、非常に喜んでいます。何といっても本人は今、言ったことを、すぐ忘れてしまいますので、一人でおいておくことは家族として不安です。その点でも安心して貴施設で預かって頂いて感謝しております。これからもよろしく願いいたします。
- ・病院などに行く必要があった時、忙しい中、母を連れて行っていただき、結果もすぐ、連絡いただき、安心することができました。ありがとうございました。
- ・ケアマネとの連携がない。
- ・管理者、スタッフの皆様には、いつもお世話になり、感謝しております。皆様のお蔭で利用者本人もおだやかに生活することができ安心しております。これからも宜しく願いいたします。
- ・今まで通り、とてもまんぞくしています。
- ・建物、スタッフの態度について何も言う事はありません。自分の家に居るときと比べものにならない位、良くてまるで極楽世界に居る様な気分になります。唯々感謝々の日々です。
- ・1階の洗面所の水道の蛇口の栓がかたいので水が出にくい、助けてもらうことが多い。
2階のトイレの鍵がまめつしていて閉まらない、使用中の札を出していても、ノックし

てくる人があるので、不安です。

- (利用者の同居家族より) デイサービスの続きでショートステイが利用できたらいいと思います。急に知らないところでショートステイさせるのは混乱を招くだけと思い、利用に踏み切れません。もしもの時、預かってもらえる場所が今のところ決まっていなく困っています。
- 本人の希望がわからないので困ります。スタッフの方に迷惑をかけているのではないでしょうか？
- いつも大変お世話になり、ありがとうございます。親身になって色々のご配慮下さり、本当に感謝しています。不安がある事は送迎についてです。送迎だけとはいえ、介護資格取得者、利用者ひとり、ひとりの体の状態を把握している方をお願いしたいです。
色々が無理を言ってばかりで迅速な対応をして頂き、引き続き変わらね、ご支援よろしくをお願いいたします。
- 排泄についてのお願いですが、当人は、しゃべらない為、また家にいる時は、さっき行ったばかりなのに又行きたいと云う事があるので、定期以外にもトイレに行かなくて良いか声をかけて頂くと有難いです。
- 本人に寄り添って、本当に良くお世話していただいて、とても感謝しています。
- 家から近く、本人も嫌がることなく通所しているのでスタッフの方々にも努力、サポートして頂いているからだと思います。今年、配偶者が亡くなってから認知症が以前より進んでいる感じではありますが、現在の2回/週から3回/週にすることで少しでも進行を遅らせられたらいいなあと思います。相変わらずどの様に接することがいいのかに悩む日々です。質問に対して違うことを応える状況が多く、怒ったり、責めたりしないよう、家族側が努力はするものの、一方通行になることが多く、こちらはため息をつく機会が増えました。
- 90才という年齢もあり、疲れやすいようです。自宅でもすぐに横になりたがりです。デイでも静養させていただくことが多いようです。できれば、ベッドのところにカーテンをつけていただくと、本人も気楽に休ませていただくことができるように思います。
- 日頃のご配慮ありがとうございます。今のところ特に困っていること、悩んでいること、ありません。今後ともよろしくをお願いいたします。
- 今後ともよろしくお祈りします。
- いつもお世話になります。去年はひとりである母の事を思うと心配事が多く、気が休まることはありませんでした。特に今年の夏は暑く、入所させて頂き、私達も安心して暮らしております。これからもよろしくをお願いいたします。
- 特にない
- 特にありません
- 本人の妻で御座いますが、本人は何も説明をしてくれませんが、時々作品(絵、書、習字、生け花)持参して居ます。現地に行ったことはありませんが、私が困った事等電話もさせて頂きましたが、本当に助言のおかげで助かりました。(2~3回)
- 常に服のポケットにお金を入れています。デーサービスではお金は一切必要ないからもつ

ていかないように注意したところ、とても腹を立て、どうしても持っていくと云います。何かの折にお金を持ってこないよう全員そろったところで、お話をしていただけないでしょうか。よろしく願いいたします。毎日にお世話のお仕事ご苦労様です。ありがとうございます。

終末期を支えて アンケート結果

この度は、アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

皆様の真摯なご意見を参考に、法人として今後、終末期の扱いをどうしていくか協議してまいります。アンケートの内容は、記述された通りに記載いたしましたが、一部文章の内容がわかりにくい所はわかりやすい表現に変えて記載いたしました。

法人としては、管理者間ではLMDという終末期の同意書を検討いたしました。

良かったこと・うれしかたこと など

※川上様に関して…「ありがとね」「悪いね」とこちらを気遣ってくださる。特に求めている訳でもないのですが、そのやさしい言葉や謙虚さに触れさせていただき、その人の人となりや自分の頭の中で、いろいろ想像したものでした。残された時間を介護者として病気を理解する事はもちろん、精一杯お手伝いさせていただこうと思いました。

※〇〇さん、〇〇さん…他の方にもめぐり逢えてよかったと思ってます。精一杯がんばって生きようとしている姿を見て来て感動しました。私もこれからもっと努力してがんばって行こうと思います。

※ご本人はお体もえらく、きびしい時もおありになった事と思いますが、私の中では看取ったという意識はなく、〇〇さんも笹部さんも素晴らしい笑顔の方でした。楽しい思い出ばかりです。

※看取りの経験を得ることができた。看護、医療の知識、人が老いる、亡くなるとは何か、亡くなった後の虚無感など、人生において得難き経験を学べた。家族からの感謝の言葉。自分なりの達成感。現在において自然死とはいかに難しいかわかることができた。介護、看護として大喜家としての必要意義がわかった。自分は看取りは行いたい。

※最後まで関わらせていただけたこと。ご家族がここでよかったと、おっしゃっていたこと。

※見慣れたスタッフがいる中での最後は家族・本人にとっても安心感があるのかなと思いました。施設での終末期を知る事ができた。

※ご家族に最後、感謝され「これで良かったんだ」と思えたこと。終末期と一緒に過ごすことで、人間の最期をどのように迎えてもらったかを考えられたこと。

※家族の方は満足して下さったらしいこと。

※病院ではなく、在宅で最期まで過ごされ、安楽な状況で生活できたと思いました。ご本人様やご家族様の要望・意向に少しでも沿えたのではないかなと思います。

※いつも笑顔でせっしていました。会話もよくしてくれました。トイレ移動する時も手を一緒に握ってくださいました。

※先生との連携が深まった。さんが敗血症をおこして、DICになった時の口腔内ケアと吸引。さんの息を引き取る前の呼吸の変化に気付いた。このスタッフが点滴管理の必要な方を何の文句も言わずに、一人で夜勤をこなしていて、本当にいい子達だと思えたこと。→スタッフの個人の能力の高さや頑張りを知ることができた。さんの瞬時の判断はすごいと思った。

悪かったこと・困ったこと・悲しかったこと など

※最後近づくにつれ「痛い！」という訴えが多くなり、そーと ゆっくりを心掛け触れるように致しましたが、とても心が痛みました。治療はしないというご家族のお考えも理解しておりましたが、痛みは取ってあげて欲しい……。そんな思いでいました。食事ものどを通らなくなった、様を見ていて、せめてエンシュアでもと提供致しました。「おいしい！」と飲んで下さった時には、ささやかではあるが、お力になれたか？少し心が救われたような感覚を抱いたのを覚えております。祖父は自宅、母は病院ではありましたが、又、様々の方々の最期を見てまいりましたが、様に関しては率直なところ同情に値する気持ちがありました。

◎ご家庭の事情は様々でしょう。御家族の御意向が優先される事はやむおえない事もなきにしもあらずでしょうが、ご本人は自分の死に対してどうだったのか？望はなかったのでしょうか？ご本人のご意向に添えたのか？そんな疑問が残りました。

◎スタッフに対しては、生死をさまよう方を前に、特に手薄になる夜中など体力的、精神的に負担になっておられたのではないのでしょうか？早朝もスタッフが付きっきりとなりフロアーが手薄になってしまった日もありました。

◎重度者を受け入れるのであれば、常勤の医療関係者（医師、看護師等）が居て下さると心強く思います。

※ベッドで休んでる姿を見て…痛みをこらえている事がよくわかります。でも、がんばってる姿をみるとよけいにつらくなります。

※もっと私達にできた事はなかったかと後悔です。というか考えます。何ができるかはわかりませんが、ご本人にとって最善だったのかどうか？病院の方がよかったのでは？と思う事もよくあります。これは永遠のテーマなのかもしれませんが、ご家族にとって、一番の方法がここで最期という事なのであれば、仕方ありませんが…。よく、わかりません。

※自分は、さん、さん共に最初から関わってきた。元気だった頃もよく知っているし、家族の想いも知っている。なので、最期まで関わられたことは、近くで死を看取ったことに満足がある。しかし、もし、全く自分の知らない方、又、法人とも関わりがない方が、急に看取りのためだけに、入所したらどうだろう？同じように毎晩泊まって近くに寄り添うことができたか？正直、自信がない。夜勤職員が心配なので泊まるとは思いますが、そもそも断ってしまうかも…。同じ一人の「死」なのに平等に接しれない。介護職としてこれでいいのか？疑問がつきまとう。今回の二人と自分は縁がある。だが、パートの方々や、さんや、さんと初対面のスタッフは、

上記のような気持ちかもしれない。そもそもそうでない方が少ないかも…。終わって振り返ると、ただ、自分の自己満足、エゴだったのかも。「パートさんが他人事のように思っている」と腹を立てたが、それもおかしな話だったのかも。自分は法人に恩がある、だから恩が少しでも返せるなら協力したい。しかし、それでスタッフを振り回したくない。スタッフが振り回されても恩があるから「振り回されてやる」と思わせれなかった。人望のなさが非常に悲しい。

※最後まで関わらせていただきましたが、それは、ご本人も望まれていたのか、もっと医療的なことができる場所、スタッフがいた方が、ご本人は安心できたのではないだろうか、痛み、苦痛の処置ができる場所=病院、あるいは自宅で往診、訪看。今後もっとお二人とは違う形での最後の時、息の引き取り方をした場合、このスタッフだけでは、対処ができない。特に夜間、スタッフがひとりの時そのスタッフの負担とその後の精神的なダメージも受けてしまうのではないだろうか？そうでなくても特定のスタッフ（NS、管理者）の負担が大きくなってしまふ。ここでは医療の制限があるので、むずかしい問題だと思います。

※施設での終末期では、病院とは違ってできる範囲も内容も変わってきて、基本的に延命はせず積極的な治療は行わない事だと聞いていました。しかし 家族によっては完全な延命ではなくとも、延命治療に繋がる様な事を望む時もあり、施設での終末期を迎えるという事を理解して頂くのがなかなか難しい様でした。家族の意向と、施設でのやり方が一致しないと施設での終末期の看取りはスタッフも家族も納得しにくいのでは…と思いました。終末期の治療では、全体的にスタッフ（介護・看護）の負担も大きくなるのが大変だと感じました。何かあった時などに、すぐ対応する事が難しいです。

※私の考える小規模での看取りというのは

・小規模に通っていた人が体調を崩し、ターミナルが必要になる。

↓

・ご本人や家族の強い希望で家で終末期を送りたいという意思表示がある。

↓

・小規模スタッフがご自宅に訪問して清潔ケアや家族、ご本人の話を傾聴して、安楽な最期を迎えられるよう援助する……というものです。

ご自宅で終末期の援助ができないのであれば、病院へ行かれるのが、妥当だと思います。ここは入院施設ではないのだから。私だって、ここで知り合って、大好きになった利用者さんの最期を看取りたい！！と思います。でも、それは、ここが医療施設であればの話です。理想を追い求めることで、スタッフの負担は大きくなり、不満は貯まる一方だと思います。

※介護と医療の間で、どこまでのラインを介護で受けていくのかという見極めに困ることがあるため、ご家族の意思をしっかりと書面に残しておかなければいけないと思った。

※事前情報があまりないなか突然のように大喜家にこられた。本人の体調が変化する で 目ざすのは何なのか 看取り？ 全スタッフには伝わっていない。わからない。一部スタッフだけが動いている。 どうしていいのかわからない。 看取りとは何か 何を目ざすのか 事前学習や法人のあり方、考え方が必要。終末期と言っても、人によって短い人も長い人もいらっしゃる。ただ、入居された段階で何らかの病気があったり、ガンの末期など ある程度 予測がつく方は 最初から全スタッフに、その状態を公表し、看取りもありうることを伝えるべきでは。また、刻々と状況が変化していく場合、スタッフ一人一人、仕事の日、公休日とあるわけで、誰がどう変化を全スタッフに伝えていくのかも考えておかなければ。寄りそうことや家族への声かけの仕方など、

学ぶことは大きい。亡くなることは、その方、家族にとっては悲しいことだけれど、私たちスタッフは学ばせてもらえることは、多々あるし、誰にとっても死はさけて通れない。しっかりと学んだり、体制を整えた上で、今後も看取りができればと思います。

※もう少し、ご本人様やご家族のニーズの為にできることがあったのか、思うのは日中の過ごし方でもっと声かけなどの対応が必要だったのか？居室などの生活環境は、ご本人様ゆかりの品物をもう少し増やして、在宅の実感のもてる工夫などができたのかな等思いました。

※ さんがベッドに横になってから、起きるのを拒否して、なかなか起きなくて、こまりました。話をもっと聞いて、わかってくれて、おきるように思って、りかいをするよう、もっと、がんばらなければと思いました。二人がいなくなって、本当に悲しいです。もっと、利用者さんに、理解と会話を考えて話すこと。自分と利用者さんが一体になって笑顔で過ごせることを目標にして、がんばりたいと思いました。

※ さんは日に日に様態が悪くなり、体液が出てしまっている状態で、スタッフに二次感染の恐れがあるのではないかと、あの様な状態の方は、やはり病院へ移送すべきではないかと思いました。ご家族に限っては瑞穂区内に自宅があり、お世話をしている方は仕事もリタイアされて時間的にも余裕があった方達でした。24h ナースが常勤していない、こちらで医療行為を要求してくるのには疑問を感じました。今後、受け入れる際は慎重にスタッフ一同、カンファレンスをしてからにして頂きたい。